

(別紙4(2))

事業所名 グループホームじぶんち

目標達成計画

作成日: 令和 2年 2月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 25 37 48	個々の入居者の「できること」など、現在の状況に対する職員の共通認識はできるようになった。入居者の『現在』のできる力を十分に発揮できるような機会をさらに確保していきたい。また、入居者の意向や要望をくみ取り、職員間で共有し、できる限り実現していきたい。	<ul style="list-style-type: none">「人」として、「生活者」としての尊厳が尊重される支援を行う。各入居者の「できる力」「できること」を把握し、入居者が力を発揮できる活動を工夫する。各入居者の要望や意向を生活の中に取り入れ、生活の「楽しみ」を増やす。入居者の思い、支援方法や介助の程度などの共通認識を持ち、統一した支援を行う。	<ul style="list-style-type: none">「できること」に着目した個別のアセスメント項目の見直し、作成を行う。個々の入居者の能力に配慮した活動を用意し、自己選択ができるように支援する。意見交換ページの様式を変更する。入居者個々の対応や支援方法、要望なども記入し、共有する。「家事、余暇活動一覧表」のファイリング方法を見直し、活用しやすくする。	12ヶ月
2	48 49	生活の中で身体を動かすことが少なくなっている。筋力が低下することで、転倒しやすくなったり、疲れを感じやすくなったりすることが多くなる。また活動意欲や外出意欲の低下にもつながる可能性がある。	<ul style="list-style-type: none">日常生活の中で、楽しく身体を動かすことができる。筋力低下を防ぎ、散歩などの日常的な外出を楽しむことができる。	<ul style="list-style-type: none">現在行っている体操や運動を楽しく取り組めるような工夫をする。体操の種類を増やす。入居者が選んで行うことができるように、道具などを準備しておく。外出チェック表を活用し、各入居者の状況、意向に配慮した外出支援を行う。	12ヶ月
3	36 54 55	居室内の環境も本人に合わせて、安全で使いやすくしていきたい。また、入居者が居室で過ごすプライベートな時間を有意義にしたい。	<ul style="list-style-type: none">居室内の収納方法や場所、表示などを入居者本人が使いやすい工夫をする。居室でプライベートな時間を心地よく過ごすことができる。	<ul style="list-style-type: none">各入居者の状況に合わせた収納方法、表示方法を工夫する。入居者が居室で過ごしている時間に、写真や作品を見ながら思い出話をするなど会話をする時間を作る。	12ヶ月